

石川病薬 ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和6年(2024)/11.27発行 No. 187

CONTENTS

- ・巻頭言
- ・石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会
- ・委員会報告
- ・クローズアップ活動 災害医療現場
- ・エキスパートに聞く! ~輝く石川のキラ星~
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

被災の教訓を踏まえた災害対策特別委員会の取り組み 金沢大学附属病院 中出 順也…… 1

〔石川県病院薬剤師会 新任薬剤師研修会〕

第46回新任薬剤師研修会開催報告 石川県立中央病院 八田 喬史…… 3
新任薬剤師研修会に参加して 加賀市医療センター 下中 須弥子…… 5
第46回新任薬剤師研修会アンケート結果 …………… 6
新任薬剤師紹介 …………… 8

〔委員会報告〕

感染制御委員会

「第24回石川県感染制御セミナー開催報告」 金沢医科大学病院 多賀 允俊……14

中小病院委員会

「第36回中小病院薬剤師会研修会報告」 町立富来病院 仙崎 好彦……15

総務委員会

「2024年 第1回病院薬剤師会ボウリング大会報告」 石川県済生会金沢病院 岡田 久美……18

〔クローズアップ活動 災害医療現場〕

令和6年能登半島地震 奮闘記 珠洲市総合病院 中野 貴義……22

〔エキスパートに聞く！ ～輝く石川のキラ星～ (28)〕

「スポーツファーマシスト」 金沢医療センター 樋口 聖……24

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕 ……………26

〔南船北馬〕 ……………27

〔寄稿〕「古寺との結縁-64」 倶利伽羅不動寺～能登地震後の初詣と節分会～ 院瀬見 義弘……28

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕

表紙写真 撮影
：熊走 尚志

天徳院と兼六園
ライトアップされた兼六園の雪づりと、珠姫の菩提寺である天徳院の紅葉、既に落葉となっている。

被災の教訓を踏まえた 災害対策特別委員会の取り組み

石川県病院薬剤師会 災害対策特別委員会 委員長
金沢大学附属病院 薬剤部 中 出 順 也
薬剤主任/感染制御部 副部長

今年度より新たに本会に設立されました災害対策特別委員会の委員長を拝命しております金沢大学附属病院の中出順也と申します。

まず、今般発生した令和6年能登半島地震の被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。本稿執筆中の令和6年9月初旬（発災8カ月後）現在においても、未だ多くの方が一次避難所での生活を余儀なくされている現状があります。一日でも早い復興を心よりお祈り申し上げるとともに、被災者の救助や被災地の復旧・復興支援のために尽力されている皆様に敬意を表します。

さて、本震災に際して本会は発災日より日本病院薬剤師会（日病薬）と連携を取り合い、会員・非会員の施設問わず県内の病院薬剤部門の被災状況の情報収集から災害対応を開始しました。発災4日目からは、本会および日病薬の災害対策緊急オンライン会議を開催（3月末まで継続開催）し、日病薬災害登録派遣薬剤師制度やボランティア薬剤師制度を活用した病院薬剤師の災害支援を開始することが決定されました。そして、発災7日目には石川県保健医療福祉調整本部（石川県庁）内に日病薬現地調整本部を設置することが決定され、36名の日病薬災害登録派遣薬剤師、48名の災害ボランティア薬剤師による石川県内11医療機関での医療支援活動や現地調整班活動が実施されました。総数として実に延べ572名による災害支援活動が3月22日まで継続的に実施され、1件の事故の発生もなく活動終了することが出来ました。全国よりお越しいただきご支援いただきました先生方、支援に来られた先生方を後方より支えてくださった先生方及び、そのご家族の皆様には深く御礼申し上げます。

本会役員会では能登地区の復興や今後の災害対策について議論を重ね、令和6年度より災害対策特別委員会を設置することとなりました。本委員会では災害医療や災害薬事に関する教育、情報提供等の充実を図り、本会会則第2条に定める薬剤師の倫理的および学術的水準の向上と質の高い薬物療法の確保による国民の健康及び福祉の増進、医療薬学および薬剤業務全般の向上発展に寄与していく所存です。以下に現時点での主な委員会活動計画を記載します。

災害対策特別委員会の主な活動計画

- ・石川県病院薬剤師会災害担当者の担当（委員長）
- ・日病薬災害登録派遣薬剤師の登録支援
- ・災害医療および災害薬事に関する教育への参加と開催
令和7年1月12日（日）に日本災害医学会災害薬事研修コース（PhDLS）を共催予定
- ・病院薬剤師会としての災害支援や受援体制に関するマニュアルの作成
- ・緊急時の病院薬剤師会関係者間の連絡体制の構築（事務局と連携）

今般の震災では、病院薬剤師の地域偏在問題がある中での発災であり、このことは特に病院薬剤師の災害支援継続や終了を検討する上で大きな影響がありました。被災下でできることのほとんどは平時からの着実な準備が出来ているかどうかにかかっています。また、これら問題を抱えた地域での今回の有事は人口減少や高齢化が進んだ将来の日本全国の平時を見ているとも考えられます。被災や被災地のことを忘れず、役員会や他の委員会と十分な情報共有を行い、日本病院薬剤師会、行政、他の職能団体および災害関連学会等と連携した委員会活動を行って参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

